

アトリエ 琉游舎 だより 6.1号

2017年8月8日発行

お盆施餓鬼法要

8月20日(日)10時から

- ★8月20日は「施餓鬼会」を行います。
- ★この時期に、13日に行った「盂蘭盆会」と一緒に行うことが多いのですが実は意味が違います。
- ★ざっくりとしたまとめですが
「盂蘭盆会は有縁（親や先祖など）の故人に対する報恩感謝」
「施餓鬼会は有縁・無縁を問わないすべての精霊への供養と回向」
- ★お盆にお墓参りができなかった方もお盆に興味ない方も琉游舎の法要と一緒に祖霊に報恩感謝してみませんか？
- ★受難、殉難、遭難、自然災害、人為災害、戦争、病没、公私問わずすべての霊位をご供養いたします。
- ★もちろんすべての人に開かれている琉游舎は宗教宗派を問いません。

○祖先のご供養をご希望の方、事前にご連絡いただければ経木塔婆をご用意します。

○供養される方のお名前・戒名・「○○家先祖代々の霊」などと書きます。

○琉游舎だより1号でも書きましたが、琉游舎は営利事業ではありません。

また私は職業僧侶でもありません。お布施は一切お構いなきようよろしくお願い申し上げます。

盂蘭盆会とは

仏様の弟子の目連が、餓鬼の世界に落ちた母の苦しみを救ったと言われる『盂蘭盆経』を基に行われている行事です。盂蘭盆とは、梵語の「ウランバーナ」（逆さ吊り）を音写した言葉で、供養を受けられずさかさ吊りの苦しみに遭っている父母の霊を供養することの功德の教えと、古来日本の祖霊信仰の風習が合体し、お盆として行われるようになりました。

施餓鬼会とは

施餓鬼は貪り苦しむ餓鬼に対し飲食を施し、供養することからお盆の時期に限らず行われる行事です。お経の力を餓鬼界に苦しむすべての人たちに回し向けること（回向）で、先祖代々や広く無縁の諸精霊を供養します。施餓鬼は、有縁無縁を問わず施すという菩薩行（布施行）の実践であり、自分の命はすべての生命と繋がっていることを自覚し、自らの欲や貧りを反省する大切な法要です。

★第二回詩話会は9月3日（日） 10時から

- ★詩人戸井みちおが現代詩の名作を優しく解説します。
詩の名作をお茶請けに皆さんとお茶を飲み楽しく語り合う会です。
- ★今回は茨木のり子の詩を取り上げる予定です。
- ★戸井みちお（出琉の父）は難しい話が最大の苦手です。馴染みがない方も多い現代詩の世界を易しくユーモラスに語っていきます。
- ★お気軽にお越しください。テキストなどすべてご用意いたします。

★次回読書会は 8月22日（火） 13時半から

- ★次回は妙法蓮華経提婆達多品第十二の音読と解説行う予定です。提婆達多品は「悪人成仏」と「女人成仏」について説かれたお経です。
- ★昼下がりのちょうど暑い盛りです。コリーナにお住まいで歩きでお越し予定の方はわたくしが車で送り迎えをいたします。遠慮なくお知らせください。

★映画観賞会は 8月の毎週月曜日と木曜日

- ★10時～アニメーション・16時～名作映画
- ★ラインナップは4号か5号をご覧ください

琉游舎：戸井 出琉・恭子

お問い合わせ先：0287-53-7848

08033508152

矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850